

いちご低温カット栽培における新品種「そよかの」の特性

【1 成果概要】

いちごの露地・半促成栽培向け極晩生品種「そよかの」は、本県の低温カット栽培（半促成栽培）においても従来品種「北の輝」より多収で商品果の揃いに優れる有望品種であると明らかになったため、その特性を紹介します。

(1) 東北農業研究センターと東北4県との共同研究で作られた品種です。

「そよかの（旧系統名：イチゴ盛岡36号）」は、農研機構東北農業研究センターにおいて「豊雪姫」に「さちのか」を交配し、本県と東北農業研究センター、青森県、秋田県、山形県との共同研究により育成されました。

(2) 品種の特性は以下の通りです。

- ・草勢は強く、立性で大株となり、ランナー増殖性に優れます（表1）。
- ・収量性は「北の輝」より優れます（図1）。
- ・商品果率や商品果1果重、2L以上の大果の割合が「北の輝」より高く、商品果の揃いに優れます（表1、図1、2）。
- ・果実糖度や酸度は「北の輝」と同等ですが、果実硬度は「北の輝」より低く、そのため裂果といった障害果の発生が少ない品種です（表1）。

表1 品種特性

	そよかの	北の輝
草姿	立性	中間
草勢	強	中
草高 (cm)	39.2	32.4
ランナー発生数 (本)	21.0	16.5
総収量 (g/株)	1057.1	855.5
商品果率 (%)	86.6	75.5
商品果1果重 (g)	13.7	11.2
2L以上の大果割合 (%)	34.3	15.8
裂果発生割合 (%)	0.2	7.4
商品果の揃い	優	やや劣
果実糖度 (Brix%)	7.6	7.9
酸度 (クエン酸値%)	0.63	0.64
硬度 (φ6mm, gr)	458	577
果形	円錐	短円錐
果皮/果肉色	明赤/淡赤	赤～濃赤/赤
瘦果の深さ	中	浅

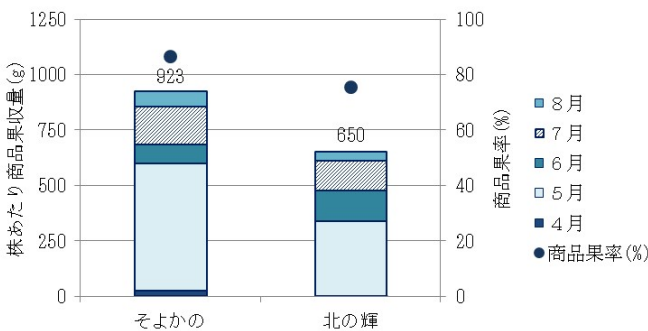


図1 商品果収量と商品果率(3か年平均)

【2 栽培における留意事項】

- ・「そよかの」は品種登録出願となっており、種苗会社での取扱いは令和3年以降に開始する見込みです。苗の購入を希望する場合、令和2年度については南部園芸研究室にお問い合わせください。
- ・本成果は、発泡スチロール栽培槽を用いた高設栽培の結果です。土耕栽培や露地栽培への適応性は東北農業研究センターの試験研究成果を参考にしてください。



図2 供試品種の果実

(上：そよかの、下：北の輝)